第21講　【現代編】冷戦の終結と現代世界
PART4 現代の課題

Chapter 1　各地の民族紛争や地域紛争

目標
ユーゴスラヴィア内戦が勃発した経緯を知ろう。
アフリカの地域紛争の背景を理解しよう。

1　ユーゴスラヴィア内戦

1980年　初代大統領ティトーが死去すると，民族対立・宗教対立が激化
1991年　**クロアティア**と**スロヴェニア**が独立を宣言
→ユーゴスラヴィア解体。国家の維持を望むセルビアと軍事衝突がおこる
1992年　**ボスニア＝ヘルツェゴヴィナ**が独立を宣言
※ムスリム・クロアティア人・セルビア人の3者が独立を巡って対立。
→ NATOが軍隊を派遣，1995年に紛争が終結（**ボスニア内戦**）
1992年　セルビアとモンテネグロが，**新ユーゴスラヴィア連邦**を建国
1996年　セルビア南部の**コソヴォ**自治州で，アルバニア系住民の独立運動が活発化
1998年　〔　　　　　　　　　　　　〕がおこる
※セルビアがアルバニア系住民の独立運動を弾圧。大量の難民が発生。
1999年　NATOがセルビア軍のコソヴォからの撤退を求めて**セルビアへ空爆**
2003年　新ユーゴスラヴィアが，セルビア・モンテネグロに国名変更
2006年　セルビア，モンテネグロが分離
2008年　コソヴォがセルビアから独立宣言

2　湾岸戦争と中東問題の推移

①湾岸戦争

1990年　イラクが，石油資源の豊富な隣国〔　　　　　　　　　　〕に侵攻
→国連がイラクへの武力行使を容認する決議を採択
1991年　アメリカが〔　　　　　　　　〕を組織してイラクを攻撃，撤退させる
→ 1992年，日本でPKO協力法が成立

②パレスチナ問題（中東問題）

1987年　反イスラエル民衆蜂起〔　　　　　　　　　　　　　　　〕がおこる

※イスラエル占領地で，パレスチナ人がイスラエル軍に対し投石やデモで抵抗。

1993年　〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕（**オスロ合意**）を結ぶ

※アメリカの〔　　　　　　　　　　〕大統領の仲介で，**パレスチナ解放機構**の〔　　　　　　　　　　〕議長とイスラエルの〔　　　　　　〕首相が，相互承認で合意。

1994年　パレスチナ暫定自治政府が成立

1995年　ラビン首相がユダヤ教徒急進派に暗殺される→以降，情勢は混迷

3　世界各地の地域紛争

①アフリカ

A　**ソマリア内戦**…1982年から内戦がおこり，反政府勢力が首都を制圧。1992年，国連が平和維持部隊（PKF）を派遣するが，効果をあげられずに撤退

B　**ルワンダ内戦**…ベルギーの統治下でツチ人とフツ人の対立があおられたことに起因する内戦。1994年にフツ人によるツチ人の大虐殺がおき，大量の難民が発生

C　**コンゴ内戦**…1998年にカビラ政権と反政府勢力による内戦が発生。豊富な鉱物資源に関する利権も絡んで，周辺諸国を巻き込む紛争に拡大（アフリカ大戦）

②旧ソ連領

チェチェン紛争…チェチェン共和国がロシア連邦からの独立を目指し，ロシアとの間で1994年～96年と1999年～2009年の2回紛争が発生

③中国の少数民族問題

A　2008年，**チベット自治区**で反中国運動

B　2009年，**新疆ウイグル自治区**で反中国運動

④クルド人問題

オスマン帝国解体の際に**クルド人**居住区が各国に分断されたことに起因する，クルド人の独立問題。トルコやイラクは，独立運動を武力で鎮圧

まとめ

地域によって民族や宗教が異なるユーゴスラヴィアで，スロヴェニアとクロアティアが離脱したことにセルビアが反発したため。

旧宗主国が民族の分断を支配に利用したため，独立後に紛争になった。

Chapter 2　同時多発テロと世界の多極化

目標　同時多発テロ事件以降，アメリカの外政がどのように転換したのかを理解しよう。
イラク戦争の原因を学ぼう。

1　同時多発テロとアメリカの変容

同時多発テロ事件

2001 年　9 月 11 日，〔　　　　　　　　　　　　　　〕が発生
※ハイジャックされた旅客機が，ニューヨークの世界貿易センタービルなどに突入，多くの犠牲者を出す。

2001 年　共和党の**ブッシュ**（子）大統領が**「対テロ戦争」**を宣言
→ブッシュ政権では、一国だけで国際問題を解決しようとする**単独行動主義**の軍事行動が増える

2001 年　同時多発テロ事件の実行犯とされるイスラーム急進派組織**アル＝カーイダ**を保護しているとして，〔　　　　　　　　　　　　　〕を攻撃
→〔　　　　　　　　　　　　〕政権を打倒

2009 年　民主党の〔　　　　　　〕が非白人系として初の大統領に就任

2009 年　**オバマ**大統領がプラハで**核兵器廃絶**演説を行う

2017 年　共和党の〔　　　　　　　　〕が大統領に就任
※アメリカ第一主義を掲げて，地球規模の課題への取り組みから撤収。

2　対テロ戦争の混迷

①イラク戦争

2003 年　アメリカ・イギリスが，大量破壊兵器を保有し，国際テロ組織を支援しているとしてイラクを攻撃，**イラク戦争**をおこす（単独行動主義の現れ）
→〔　　　　　　　　〕政権を打倒

2003 年　日本で**イラク復興支援特別措置法**が成立

2004年　戦争後の復興支援のため，自衛隊をイラクへ派遣

2006年　**フセイン**が処刑される

②シリア内戦

2011年　各地でアサド政権打倒を目指す反政府デモが発生

→反政府側が武装化し，シリア内戦に発展。大量の難民が発生

2010年代半ば　イスラーム過激派のイスラーム国（IS）が勢力を拡大→内戦が激化

③アフガニスタン

2001年　国際連合の主導で暫定政権が成立。新たな国づくりがはじまる

2021年　アメリカ軍が撤退

2021年　ターリバーンが首都カヴールを制圧し，権力を掌握

3　中国とロシアの先鋭化

①中国の台頭

2010年　GDP（国内総生産）でアメリカ合衆国に次ぎ世界第2位の経済大国になる

2013年　〔　　　　　　〕が国家主席に就任

※海洋進出を強化し，「一帯一路」構想を提唱。

2019年　香港で民主的権利擁護運動がおこる

2020年　香港に対して国家安全維持法を制定，一国二制度を形骸化

②ロシアの動き

2000年　〔　　　　　　　　〕が大統領に就任

※国家による基幹産業・資源への管理を強化。

2014年　ウクライナのロシアへの併合を宣言，〔　　　　　　　　　　　　〕へ侵攻

→ウクライナ東部で，親EUの政府側と親ロシア勢力の紛争がはじまる

2022年　〔　　　　　　　　　　〕へ侵攻

まとめ

「対テロ戦争」を掲げ，単独行動主義による軍事行動が増えた。
イラクが大量破壊兵器を保有しているとして，アメリカが先制攻撃を行ったことで，イラク戦争が勃発した。

第 21 講　PART 4　確認問題

1 旧ユーゴスラヴィア内で，1998 年に独立を目指すアルバニア系住民とセルビアとの間でおこった武力衝突はどれか。

① コソヴォ紛争　② ボスニア内戦
③ ポズナニ暴動　④ バルカン戦争

2 1990 年にイラクが軍事侵攻した，石油資源の豊富な隣国はどこか。

① サウジアラビア　② シリア
③ イラン　④ クウェート

3 1993 年のパレスチナ暫定自治協定を仲介したアメリカの大統領はだれか。

① ブッシュ（父）　② クリントン
③ レーガン　④ ブッシュ（子）

4 1994 年にフツ人によるツチ人大虐殺がおこった，アフリカの紛争はどれか。

① コンゴ内戦　② ソマリア内戦
③ ルワンダ内戦　④ リビア内戦

5 「対テロ戦争」に乗り出したアメリカが，同時多発テロ事件の実行犯を保護しているとして攻撃した国はどこか。

①　アフガニスタン　②　イラク
③　シリア　④　キューバ

6 アメリカの大統領で，2009 年にプラハで核兵器の廃絶を訴える演説を行った人物はだれか。

①　ブッシュ（子）　②　トランプ
③　オバマ　④　バイデン

7 イラク戦争でアメリカ・イギリス軍の攻撃を受けた，イラクの指導者はだれか。

①　ナセル　②　ホメイニ
③　ラビン　④　フセイン

8 2013 年に中国の国家主席に就任し，「一帯一路」構想を提唱した人物はだれか。

①　江沢民　②　習近平
③　胡錦涛　④　鄧小平

第 21 講 PART 4　確認問題 解答

1 解答：①　セルビアが南部のコソヴォ自治州でアルバニア系住民の独立運動を弾圧すると，NATO が空爆を行い，セルビア軍をコソヴォから撤退させた。これを**コソヴォ紛争**という。

2 解答：④　イラン＝イラク戦争で疲弊したイラクは，石油資源の豊富な**クウェート**に軍事侵攻した。

3 解答：②　**クリントン**大統領の仲介で，1993 年にパレスチナ解放機構（PLO）のアラファト議長とイスラエルのラビン首相がパレスチナ暫定自治協定（オスロ合意）を結んだ。

4 解答：③　1994 年の**ルワンダ内戦**では，フツ人によるツチ人の大虐殺が発生した。

5 解答：①　アメリカは，同時多発テロ事件の実行犯を保護しているとして，2001 年に**アフガニスタン**を攻撃し，ターリバーン政権を崩壊させた。

6 解答：③　**オバマ**は，アフリカ系アメリカ人として最初の大統領となり，2009 年にはプラハで核兵器の廃絶を訴える演説を行った。

7 解答：④　アメリカ・イギリスは，大量破壊兵器を保有しているなどとしてイラクを攻撃し，**フセイン**政権を崩壊させた。

8 解答：②　**習近平**は，2012 年に総書記に，2013 年に国家主席に就任した。